

なんでもデジタル庁ですすめていいの？

マイナンバー制度の際限なき拡大に反対する集会(2020.11.21)

外山

## 1 はじめに

- (1) 学校は日々個人情報をつくり、更新していく場である。
- (2) 学校は生徒の個人情報収集の場ではない。指導のため必要最低限に…必要なくなれば速やかに廃棄
- (3) マイナンバーの淵源は「国民総背番号制」

## 2 デジタル庁設置を受けて文科大臣会見(2020.9.18:日経新聞より)

- ・学習履歴や学校健診、マイナンバーカード活用を検討

GIGA スクール構想で利活用が注目されている学習履歴(スタディ・ログ)や、学校の健康診断で把握した児童生徒の健診データに、マイナンバーカードの活用を検討していく考えを表明した。いずれもデータを記録したり閲覧したりする際の本人確認のツールとして、マイナンバーカードを使うことが想定される。…「児童生徒が進学しても、学校生活のさまざまな情報を引き継いでいくことは、成長の過程で大事だと思う」と述べ、GIGA スクール構想が今後、学校現場に浸透していく中で、デジタル化された児童生徒の履歴情報が、進級や進学を経ても継承されていくべきだとの基本的な認識を示した。……

## 3 コロナでGIGAスクール構想が加速(2023年度→2020年度完了へ)

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、

2019年度補正予算 2,318 億円

2020年度補正予算 2,292 億円

### GIGAスクール構想の実現パッケージ ～令和の時代のスタンダードな学校へ～

令和元年12月19日

#### 1. 環境整備の標準仕様例示と調達改革

- 「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」の考え方に基づく、学習者用端末の標準仕様を例示
- 「GIGAスクール構想」に基づく、高速回線に向けた校内LAN整備の標準仕様を例示
- 容易に大規模な調達が行えるよう、標準仕様書を基に都道府県レベルでの共同調達を推進

➢ 学校ICT環境の整備調達はより容易に

#### 3. 学校ICT利活用ノウハウ集公表

教師や学校、教育委員会等が、情報教育やICTを活用した指導、ICT環境整備等を行う際に参考となる様々な情報をまとめた「教育の情報化に関する手引」を公表。特に「第4章 教科等の指導におけるICTの活用」においては、ICTを効果的に活用した学習場面の10の分類例を示すとともに、

- 小学校、中学校、高等学校については各学校段階における各教科等ごとに
- 特別支援教育については学習上の困難・障害種別ごとにICTを活用した効果的な学習活動の例を提示。

➢ 全ての教職員がすぐに使えるように

#### 4. 関係省庁の施策との連携

- 総務省：教育現場の課題解決に向けたローカル5Gの活用モデル構築
  - 経済産業省：EdTech導入実証事業、学びと社会の連携促進事業
- ローカル5Gや教育コンテンツも活用して未来の学びを実現

#### 5. 民間企業等からの支援協力募集

将来のICT社会を創造し、生きていく子供達に向けた社会貢献として、民間企業等から学校ICT導入・利活用に対するあらゆる協力を募る。

- 校内LANなど通信環境の無償提供
  - 新品、中古問わず十分なスペックの端末の学習者への提供
  - ICT支援員として学校の利活用の人的サポート等
- 公表し、文部科学省から教育委員会へ随時繋いでいく

➢ 民間等の外部支援により導入・利活用加速

- ・児童生徒一人一台の端末(PC、タブレット)
- ・大容量高速通信ネットワーク
- ・公正に個別最適化された学び
- ・文科省、総務省(スマートスクール実証事業)、経産省(未来の教室 EdTech)…IT産業の参入

#### 4 指導のためにこれほどの個人情報が必要か…スマートスクール実証事業例（大阪市）

3. 学校教育目標「一人一人が大切にされる学校」をめざして

何となくつかんでいた「子供像」  
経験で推察される「子供像」

子供の持つ多様な情報の「見える化」「デジタル化」

集約化

児童生徒ID

●児童生徒基本情報 ●出欠席・健康観察記録 ●校務系データ ●授業・学習系データ

●心の天気 ●デジタルドリル結果 ●保健室利用記録 ●連携・活用するデータ

●家庭の様子（日常所見記録、いいとこみつけ） ●学習の様子（日常所見記録、いいとこみつけ） ●生活の様子（日常所見記録、いいとこみつけ）

●共有配慮事項 ●各教科の評価・評定

エビデンスを伴う明確な「子供像」  
一人一人の子供を大切にしたい学校経営

三 児童生徒ボード

EDUCOM Manager

3年1組 16番 山本 太郎 学級ボード 個別指導の記録

元気小学校 なにわ 太郎 ログアウト

生活のようす

共有TOPIC

※内科or外科orその他の登録率が13%（2/15日）

・教員長の仕事に負担を感じている模様。（2019年12月16日：なにわ太郎）

・登校時に元気がなかった。

いいとこみつけなど 2件/年度

・先生に元氣よく挨拶をしていました。（2019年6月14日：山田 太郎）

・掃除を一生懸命やっていました。（2019年6月14日：吉田 正二）

学習のようす

共有TOPIC

・授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。（2020年1月30日：なにわ太郎）

・算数の文章問題に抵抗があるようです。（2019年6月14日：なにわ太郎）

いいとこみつけなど 1件/年度

・苦手だったリコーダーも練習して上手にふけるようになりました。（2019年6月14日：山田 太郎）

学習データ

2019年度・6年1組1番

成績（教科）

3学年 2学期

| 観点別 | 国語    | 社会   | 算数   | 理科   | 音楽   | 図画工作 | 体育   |
|-----|-------|------|------|------|------|------|------|
| 評価  | AABBA | AABB | AABB | AABB | AABB | AABB | AABB |
| 評定  | 3     | 2    | 2    | 3    | 2    | 2    | 2    |

家庭のようす

TOPIC

・母親とケンカし、イライラしがち。（2019年9月13日：なにわ太郎）

・家庭環境の変化から1学期は休みがち。（2019年6月14日：なにわ太郎）

基本情報

【正式名】  
鈴木 太郎

【生年月日】  
2011年5月3日

【クラブ】

配慮事項

・アトピーのお薬を服用しています。（2019年6月14日：なにわ太郎）

・個別の教育支援計画／個別の指導計画あり（2019年4月10日：なにわ太郎）

出欠／健康観察

16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 1月30日(木)

遅 遅 遅 遅 遅 遅 遅 遅

29(78%) 3(8%) 2(5%) 3(8%)

保健室利用

15件/過去1年

・2020年1月27日(月)  
9:30～11:50 外科（搬送傷）

・2020年1月21日(火)  
10:30～11:50 内科（全身倦怠）

・2019年12月16日(月)  
11:00～14:10 内科（全身倦怠）

出欠／健康観察（過去6か月間）

|       | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
|-------|---|----|----|----|---|---|
| 病欠・事欠 | 0 | 0  | 0  | 0  | 1 | 0 |

- ・ 統合型校務支援システムの利用
- ・ 生徒データの収集と蓄積（eポートフォリオ）：これなくして個別最適化した学習はありえない。  
→教員の業務形態・教員組織の変化と生徒のプライバシー保護を含めた学習形態の変化

## 5 生徒のデータは民間のクラウドへ（総務省スマートスクール・プラットフォーム実証事業 評価委員会（第6回）会議資料より 2019.3.1）

### ・福島県新地町

クラウド利用及びデータ連係に該当する条例（第6条：収集の制限、第7条：利用及び提供の制限、第8条：適正管理、第9条：委託等に伴う措置等）

### ・東京都渋谷区

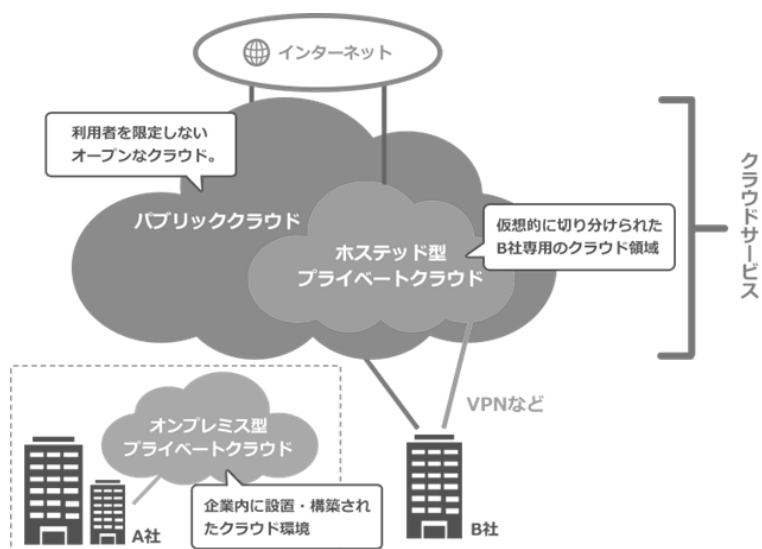
個人情報保護審査会への対応

プライベートクラウド環境…  
情報取り扱いの承認

パブリッククラウド環境…本人（保護者）同意が必要

### ・大阪市

個人情報に関わる報告：パブリッククラウド活用にあたり、既存のガイドラインや事例だけでは、個人情報保護委員会において、多くの懸念を払拭できなかった。パブリッククラウド活用にあたるルールメイキングが必要。

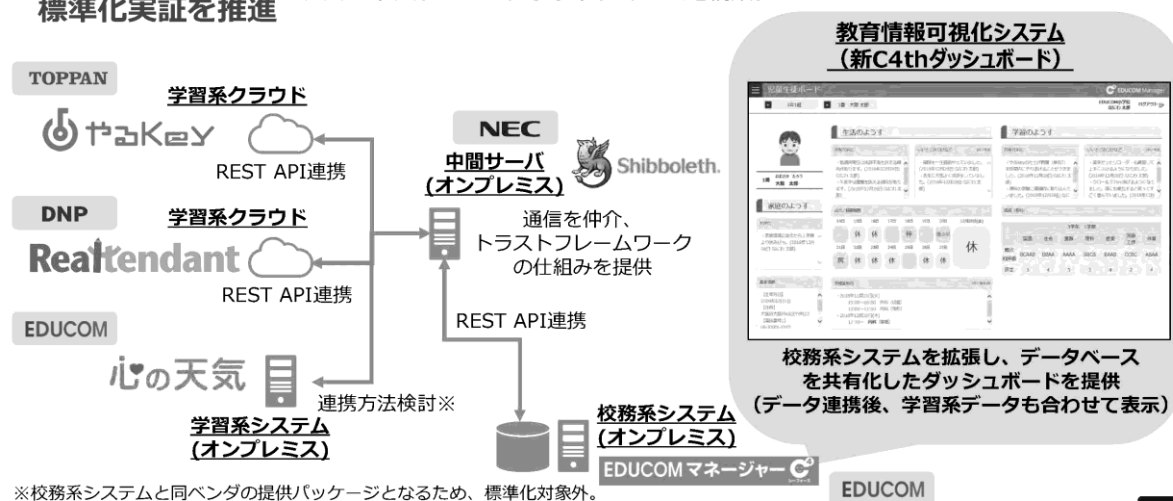


（上図 [https://www.idcf.jp/cloud/column/public\\_private.html](https://www.idcf.jp/cloud/column/public_private.html)）

## 7. 教育データ可視化システムを実現するためのシステム構成

### 校務と学習データ API連携にあたる 標準化実証を推進

パイロットシステムで進めてきた実証をベースに、スマートスクール・プラットフォームを構築。



※校務系システムと同ベンダの提供パッケージとなるため、標準化対象外。

Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

23

## 6 文科省、セキュリティより利活用へ

2019年12月、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を変更。（p6 参照）

- ・クラウドの利活用
- ・今までのガイドラインにある対策基準は「参考資料」に格下げ（セキュリティ対策に力点が置かれ過ぎていて、教育情報活用に硬直性が生じている）

## 7 ICT 教育で学びがよくなる証拠はない

### ・慶應義塾大学、山田篤裕研究会教育②分科会（2018.11）

プロジェクターを除く ICT 機器の使用は概ね学力に対して負の影響を与えており、政策意図とは逆に生徒の学力を引き下げている。

### ・OECD 報告（以下「月刊 JTU」より引用）

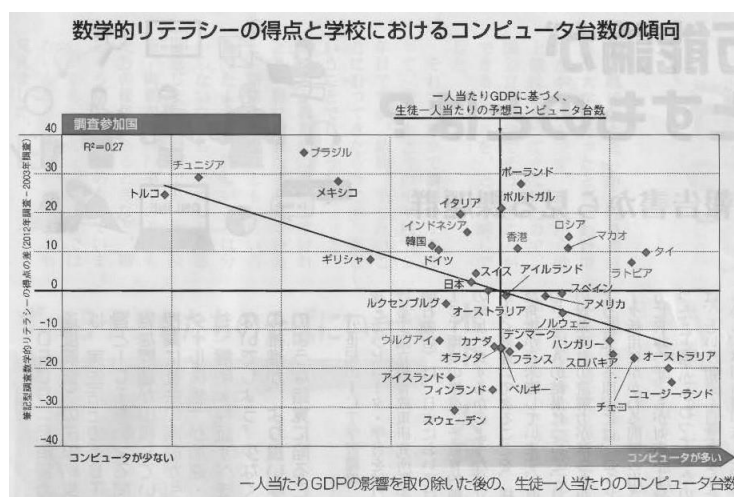
- ・結局、テクノロジーは優れた教育を拡充することはできるが、優れたテクノロジーが粗末な教育に置き換わることはできない
- ・「浮かび上がってくる結論は、平均すると学校と教育制度(国)は、いまだテクノロジーが持つ可能性を活用する用意ができていない」

### ・全国学力調査結果

授業環境の先進度（電子黒板やプロジェクタなどの整備率）で全国 1 位の佐賀県(87.1% デジタル教科書ほぼ 100%)、最下位は秋田県(17.3%)。

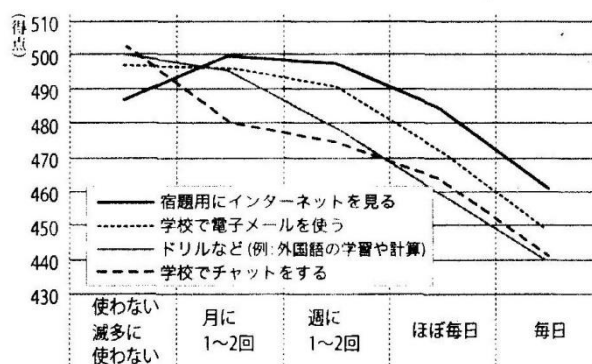
一方、全国学力調査県別ランキングでは秋田県は正答率 69.33%で 1 位、佐賀県は 62.33%で 43 位。

（参考：「世界」（5 月号） 辻元：デジタル教科書は万能か）



（出典 OECD2015 報告 月刊 JTU11 月号から引用）

図3 学校でのコンピューター使用頻度とデジタル読解力のスキル



出典:OECD "Students, Computers and Learning Making the connection"(2015)

## 8 電磁波過敏症(EHS)者への深刻な問題

（参考：「世界」（7 月号） 電磁波に満ちる

（「世界」（7 月号）加藤やすこ氏論文より引用）

教育(加藤やすこ)

有病率：日本（3.0～5.7%）、台湾（13.3%）、ヨーロッパ諸国（10%前後）

頭痛、嘔吐、睡眠障害、動機、腹痛、胸痛、耳鳴り、極度の疲労感、集中力・思考力の低下など  
フランス：3 歳以下の施設では無線 LAN 禁止。小学校では授業時のみ ON。

ドイツ・バイエルン州：学校の無線 LAN 導入禁止

アメリカ・メリーランド州：学校には有線 LAN 設置を勧告

熱効果の起きない弱い電磁波も「比熱効果」（DNA 損傷、神経系、心臓血管系、免疫系に異常）

日本は電磁波の有害影響について全く触れていない。

5G 導入禁止：スイス、導入停止を各州に通達 イタリア：260 以上の自治体が導入一時停止

## 9 神奈川県立学校の状況と文科省の姿勢

### ・生徒の個人情報の一元管理について(神奈川県立教育総合センターHP より)

第2表 電子情報の分類と管理方法

| 分類             | 個人情報                               | 個人情報以外                      | 例                                          | 管理方法                                                             |
|----------------|------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 対策<br>重要度<br>Ⅰ | 特に機密性を有するもの(学校にあっては、教職員のみ知りうる個人情報) | 業務上必要とする最小限の職員のみが扱う情報       | ・入学者選抜関係資料<br>・成績個票<br>・個別指導計画<br>・PTA会員名簿 | 教育委員会ネットワーク暗号化システムに保管                                            |
| 対策<br>重要度<br>Ⅱ | Ⅰ以外の個人情報                           | Ⅰ以外の公開することを予定していない情報        | ・委員会名簿<br>・生徒名票<br>・校内LAN等のシステム構成図         | 暗号化又はパスワード設定等の措置により管理(校内の所属サーバに保存可能)                             |
| 対策<br>重要度<br>Ⅲ |                                    | 公開することを予定している情報のうち、業務上重要な情報 | ・学校要覧<br>・使用教科書一覧<br>・教育課程編成表              | 保管方法・場所を定めて所属として管理(校内の所属サーバに保存可能)                                |
| 対策<br>重要度<br>Ⅳ |                                    | 上記以外の情報                     | ・自主作成教材<br>・生徒用配布プリント(校務グループ名等で出すもの)       | 教育委員会行政文書管理規則の運用について(教育長通知)に基づき、業務に支障を来さないよう適正に管理(校内の所属サーバに保存可能) |

### ・県教委回答より(2018年11月までの回答)

- ・セキュリティ強化のための措置。
- ・教育課程編成権の問題ではないので、校長の了解は必要ない(セキュリティ対策基準に定められている)
- ・教育委員会は情報の収集・利用の主体ではないので、審議会への報告、生徒・保護者への同意は求められていない。
- ・保存期間経過後、各学校が不要と判断したら、サーバーから削除(削除については対策基準に記載は無い)
- ・非識別加工での利活用は想定していない。
- ・「要配慮個人情報」の例としては生徒指導要録や健康診断票などが考えられる。

**今後の推移を見守る必要がある！！**

・文科省回答(2019年7月の文科省交渉※)に対する再質問への回答 下線は筆者)

6, 生徒の個人情報の一元管理と利活用について

●[再1] 教育委員会が生徒等の個人情報(要配慮個人情報を含む)を一元管理する目的は、セキュリティ確保であることは7月22日の回答で明確になりました。一方で、そのデータを非識別加工化することにより利活用する可能性についてはあり得るとの認識も示されました。

そこで質問ですが、一元管理されるデータを非識別加工化する主体はどこになるのでしょうか。一元管理しているのは各教育委員会ですが、それはセキュリティ確保のための管理でしかないので、教育委員会が非識別加工する権限はないのではないかと。そうだとすると、個々の学校の判断になるのか、あるいは学校の同意を得て教育委員会が行うのか、という疑問です。

〈回答〉

学校・教育委員会が有するデータを活用する場合には、非識別加工情報の作成やその管理における安全管理措置を徹底するなど、万が一にも本人が特定され、不利益を被ることがないように、情報セキュリティの確保には十分に留意する必要がある。

また、本年6月に公表した「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策(最終まとめ)」において、教育ビッグデータの活用に向けて、データ項目や規格の標準化を進めることとしており、学校・教育委員会が保有する教育データの活用の可能性や方策、留意点等について、慎重に検討を進めている。

●[再2] 本年6月25日、貴省が発行した「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策(最終まとめ)」9ページに「セキュリティの確保やプライバシーの保護の観点を重視しすぎていることから、データの利活用が進んでいない」とありますが、何を指して「重視しすぎている」と言っているのでしょうか。

〈回答〉

現在、学校現場においては、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づき、教育委員会等において強固なセキュリティ環境が構築されている。

御指摘の点につきましては、技術の進展により、セキュリティを担保しつつ、データの利活用の観点からも効果的であるクラウドサービスが登場している一方で、その活用が進んでいないという趣旨になる。

文部科学省としては、クラウドサービスを活用した、より安全・安価かつ柔軟な環境整備を促進するため、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改訂を進めている。

※「日の丸・君が代」問題等全国学習・交流集会実行委員会と文科省との交渉(2019年7月22日)

なお2019,2020 スマートスクール実証事業校の結果報告については以下の総務省のHPを参照のこと

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/02ryutsu05\\_04000174.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/02ryutsu05_04000174.html)

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/smart.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/smart.html)